

【H29:先-9】鳥取砂丘コナン空港運営権委託導入検討調査 (実施主体:鳥取県)

鳥取県基礎情報(H30.1.1時点)
 ・人口:564,390人
 ・可住地面積:912km²

【事業分野:空港】 【対象施設:鳥取砂丘コナン空港】 【事業手法:コンセッション】

調査のポイント

・利用人数が少なく、着陸料等の収益の確保が厳しい地方管理空港について、民間のノウハウを活用することで、コスト縮減に加え、周辺施設を取り込んだ賑わい創出につながる手法を検討する。

調査対象地及び施設の概要

【施設の概要】

鳥取砂丘コナン空港は、①旅の目的地(名探偵コナン装飾、イベント)、②6次産業やビジネスチャレンジの場(アンテナ機能、飲食・物販)、③人々の交流拠点(周辺地域との連携)となる「空の駅」として賑わい創出の核となることを目指している。

- (1) 鳥取県所有施設
 (滑走路、駐機場、灯火等空港施設)
 ・面積 107.3ha、滑走路W=45m×L=2,000m
 ・国際会館(国際ターミナル機能、イベントスペース)
 ・駐車場(収容台数667台)
- (2) 鳥取空港ビル(株)所有施設
 ・国内線旅客ターミナルビル ・貨物ターミナルビル

全国的に知名度の高い観光地である「鳥取砂丘」、松葉蟹・岩牡蠣・その他さまざまな食材の直売店や飲食店が集まる「鳥取港」など、観光地と近接しており、民間による柔軟な運営手法を取り込むことで、この地域のポテンシャルを最大限引き出すことで、「空の駅」の推進を図っていく。



事業発案に至った経緯・目的

【平成26年度】

- ・鳥取空港交流創出調査検討業務
 (空港の機能強化による拠点化、関連施設との連携について検討)

【平成26年度~28年度】

- ・意見交換会
 (空港周辺施設の事業者、周辺住民の空の駅を実現する会等)

【平成28年度】

- ・空港-鳥取港直結連絡道路の整備開始
- ・ターミナルビル一体化工事着手
- ・空港運営方式に関する検討開始

- 交流拠点としての機能強化
- ・ 周遊促進策
- ・ 二次交通
- ・ 情報発信機能

- 目的地としての「空の駅」推進
- ・ コナン装飾、イベント
- ・ アンテナショップ
- ・ 物販拠点 等

- 鳥取港とのツインポート化推進
- ・ 連携強化による相乗効果発現
- ・ 新たな観光ルート

- 【周辺観光地】
- ・ 鳥取砂丘
- ・ 砂の美術館
- ・ 浦富海岸(ジオパーク)
- ・ 青山剛昌ふるさと館
- ・ 三朝温泉 等



- 【マリニピア賀露】
- ・ 海鮮市場
- ・ 飲食施設
- ・ 農畜産品直売所
- ・ カニ水族館
- ・ マリンスポーツ

現在実施している、ターミナルビル一体化及び連絡道路の整備等のプロジェクトの供用を契機として、その効果を最大限発現し、空港管理の効率化、空港の利用促進、空港を拠点とした賑わいの創出を実現するためには、従前の管理手法(県直営)では柔軟な運営実施には限界があるため、民間のノウハウを最大限活かした管理運営手法の導入検討(コンセッション方式等)を進める。

【H29:先-9】鳥取砂丘コナン空港運営権委託導入検討調査 (実施主体:鳥取県)

